

報告者
 マスターリーダー
 総務委員長 秦 博一

神奈川県
 更新者 秦 博一、山本 吉信、近藤 通夫
 新規取得者 宮澤 光明、佐藤 博実、大城 昭夫、小野沢 慎一

日程・会場 平成24年6月16日(土)～17日(日) 国立オリンピックセンター・大蔵第二運動場

新規取得者 1道13県:21人 更新者 1道22県:76人

6月16日(土)13:00～

1) JVAゴールドプランについて

講師:緒方 良 先生

講師の緒方先生は、もと「新日鉄」の選手～監督まで経験され、日本代表チームのオリンピック最終予選での女子がかろうじて通過、男子はオリンピック参加できなかったことに、応援されていた皆さんには申し訳ないと謝罪されました。JVAゴールドプランは、競技人口拡大プロジェクトです。小中学校のバレーボールチームが減少している現実に歯止めをかけ、競技人口を拡大していこうという取り組みで、これについて説明されました。

2) ソフトバレーの普及とマスターリーダーの役割

講師:田中 清 先生

スポーツ振興法が50年ぶりに改められ、「スポーツ基本法」が制定された。これに基づきスポーツに対する国民の権利が保障され、スポーツの価値観もかわる。心を養うよう自己評価することも大切。国民の運動実施率は増加しているのに対し、ソフトバレーボール人口はやや減少気味。テキストのグラフ、表で説明されました。

3) 参加型研修

講師:吉田 和夫 先生

マスターリーダーの活動報告

- 1、秦 博一マスターリーダー(神奈川)
- 2、添田 祐子マスターリーダー(栃木)
- 3、堀田 高久マスターリーダー(福井)
- 4、川上 春雄マスターリーダー(新潟)

上記4人が活動報告をし、本県秦マスターリーダー(写真)が神奈川県ソフトバレー委員会設立の過程と、5月の開催したリーダー講習会と公式記録記入の本県の取り組み方について説明しました。



秦 マスターリーダー

その後、各県分散して、11班の作りフリーディスカッションの後、各グループごとに発表。多くのグループで、MRS登録についての発表テーマが多かったようです。

4) JVAメンバー制度・登録について

講師:山崎 治人 先生

5) ソフトバレーに関するQ&A

講師:渡邊 孝 先生 他

6) 情報交換会(グループ発表)



左から、西山日本連盟 会長、小野沢神奈川県理事
 山本神奈川県審判長、岩本日本連盟指導普及副委員長



左から、宮澤、山本、大城、小野沢、佐藤
 近藤、発表者 佐藤(敬称 略)



発表者 小野沢 (敬称 略)



各県ごとに自己紹介を兼ねて
パーティー形式で、発表を行った。

6月17日(日) 9:00～

- 1) ルール修・改正点の確認と審判指導法
- 2) 小学生ソフトバレー指導法
- 3) 救急法
- 4) グループごとにゲーム形式での審判指導法

講師: 渡邊 孝 先生

講師: 吉井 祐二 先生

講師: 増田 直彦 先生

講師: 渡邊 孝 先生他

【講習内容については、大会などで適時お知らせします】



認定書授与後の
左から、宮澤、小野沢、大城 新マスターリーダー
佐藤 新マスターリーダー(別写真掲載)

東京会場のため、西日本の受講者が少ないと思いましたが、鹿児島県の8人をはじめ、西日本の県から受講者も多かったようです。

1日目に発表の機会を与えていただき、本県の「公式記録記入」についての取り組みは各県に伝わったと思います。

また、参加者のほとんどが各県の中で、正副理事長、正副各委員長以上の重要なポストの方でした。そのためか、責任のある役職の方は、考えて発言をすることも一因でしょうか、講師の方がおっしゃっていたように発言・意見は少ないように感じられました。

橋爪日本連盟副会長の「閉講の辞」の中での、良い指導者は優秀な指導者を育てる事が、重要なことだと例をあげておっしゃっていました。

確かに、今後のソフトバレーボールを考えると、ソフトバレーボール技術や審判法が優れていることは大切ですが次世代へどのように伝承して、発展させて行くか考えてくれる人を、育てる事が重要なことだと実感しました。